



Cisco Meeting Management

Cisco Meeting Management 3.6
(ビルド 3.6.0.21)

リリースノート

2022年8月23日

目次

マニュアルの変更履歴	3
1 はじめに	4
1.1 ソフトウェア	4
1.2 以前のバージョンからのアップグレード	4
1.3 以前のバージョンへのダウングレード	5
1.4 アップグレードおよびインストールファイルのチェックサム	5
1.5 スマートライセンス	6
1.6 以前のバージョンのソフトウェアメンテナンスの終了	7
1.6.1 ソフトウェアメンテナンスの終了	7
1.7 Meeting Management と接続された Meeting Server を、 必ず同じソフトウェアバージョンで実行する	7
2 新機能と変更点	8
2.1 Meeting Management を使用してカスタマイズされたレイアウトを適用する	8
2.2 Meeting Management で PCAP ファイルをキャプチャする機能	8
2.3 アクセシビリティの向上	9
2.4 オンラインヘルプ.....	9
3 バグ検索ツール、解決済みの問題と未解決の問題	10
3.1 バグ検索ツールの使用.....	10
4 解決済みの問題	11
4.1 3.6 (ビルド 3.6.0.21) で解決済み	11
5 未解決の問題	12
6 相互運用性	13
6.1 ミュート/ミュート解除とレイアウトの動作	13
7 製品に関する資料	14
7.1 関連資料.....	14
アクセシビリティ通知	15
シスコの法的情報	16
Cisco の商標または登録商標	17

マニュアルの変更履歴

表 1 : マニュアルの変更履歴

日付	説明
2022-08-23	ドキュメントを公開。

1 はじめに

Cisco Meeting Management は、シスコのオンプレミスのビデオ会議プラットフォーム Cisco Meeting Server 用の管理ツールです。このツールを使用して、プラットフォームで実行されている会議をモニタリングおよび管理できます。また、使用しているシスコ ライセンスに関する情報も提供します。

現在の機能セットを備えた Meeting Management は、既存の Cisco Meeting Server ライセンスに含まれています。

Meeting Management を Cisco TMS (TelePresence Management Suite) と組み合わせると、Meeting Server の Call Bridge で実行される会議のスケジュールの設定、管理を行うことができます。

これらのリリースノートでは、Cisco Meeting Management の新機能、改善、および変更について説明します。

1.1 ソフトウェア

Meeting Management は仮想化されたアプライアンスです。VM (仮想マシン) の仕様は、Meeting Management が実行またはモニタリングする必要のある同時アクションの数によって異なります。仕様と要件については、管理している Call Bridge の数に関連するサイジングの見積もりを含め、『インストールおよび構成ガイド』を参照してください。

セキュリティ上の理由から、最初の実行後にコンソールを介して構成するためのユーザーアクセスはできません。インストールプロセスを除き、Meeting Management はすべてブラウザインターフェイスを介して使用します。

1.2 以前のバージョンからのアップグレード

アップグレードする前に

- ・ Meeting Management の最新のバックアップがあることを確認してください。手順については、『*Stealthwatch Installation and Configuration Guide*』を参照してください。
- ・ 展開がアップグレード先のバージョンの要件を満たしていることを確認してください。
- ・ アップグレードの実行中に重要なモニタリング対象の会議が行われないように、アップグレードを計画してください。
- ・ アップグレードを開始する前に、他のユーザに通知してください。

注：ビデオオペレータと管理者の両方のすべてのユーザは、警告なしにサインアウトされ、進行中および最近のミーティングのデータはアップグレード時に失われます。

- ・ Meeting Management をアップグレードした直後に、接続されているすべての Meeting Server をアップグレードする準備ができていることを確認してください。古いバージョンの Meeting Management によって引き起こされる問題を回避するには、最初に Meeting Management をアップグレードしてから、接続されている Meeting Server をアップグレードすることを強くお勧めします。

Meeting Management のアップグレード方法

1. cisco.com のダウンロードエリアにサインインします。
2. アップグレード イメージ ファイルをダウンロードし、適切な場所に保存します。
3. Meeting Management にサインインします。
4. **[設定 (Settings)]** ページの **[アップグレード (Upgrade)]** タブに移動します。
5. **[アップグレード (Upgrade)]** をクリックします。
6. **[アップグレードファイルのアップロード (Upload upgrade file)]** をクリックします。
7. イメージファイルのアップグレードを選択し、**[開く (Open)]** をクリックします。
8. チェックサムが[以下](#)と同じであることをチェックし、**確認 (Confirm)** します。
チェックサムが一致しない場合は、ファイルが破損している可能性があるため、アップグレードをインストールしないでください。
9. Meeting Management を再起動して、アップグレードを完了します。

1.3 以前のバージョンへのダウングレード

以前のバージョンにダウングレードする必要がある場合：

- ・ 通常のアップグレード手順を使用して、適切なバージョンのイメージファイルをアップグレードファイルとして選択します。
- ・ 予約モード (SLR/PLR) を使用する場合は、予約から登録を解除してから、以前のバージョンにダウングレードしてください。ライセンス予約の登録解除の詳細については、[予約済みライセンスの返却 \(Return Reserved Licenses\) を参照してください。](#)

1.4 アップグレードおよびインストールファイルのチェックサム

Meeting Management をインストールまたはアップグレードする前に、ファイルが破損していないことを常に確認する必要があります。以下のこのリリースのファイル名とチェックサムを参照してください。

イメージのアップグレード :

- ・ ダウンロードファイルの名前 : **Cisco_Meeting_Management_3_6_0.zip**
- ・ アップグレードイメージの名前 : **Cisco_Meeting_Management_3_6_0.img**
- ・ アップグレードイメージの MD5 チェックサム : **8f13c6e42ad8ae0319bdbc4da6b4ea2b**
- ・ アップグレードイメージの SHA256 チェックサム :
073608444a07d4113ce2f98065244a9e9b6b2ae2cee24f344deb18b5844bb519
- ・ アップグレード イメージの SHA512 チェックサム :
**c218ab47baef7d3e7a9beff7ebcfad0b7953fca049ed3f423e37112448c24d94f
474e1267614911928584f85c9c62edd8a6598061d949356655c0f97420f359f**

vSphere 6.0 以前での新規インストール用の OVA :

- ・ ファイル名 : **Cisco_Meeting_Management_3_6_0_vSphere-6_0.ova**
- ・ イメージの MD5 チェックサム : **9b094e466bec74abaaef24353f4a3048**
- ・ イメージの SHA256 チェックサム :
641a48ec3ce48b66f916d0fb4996870421a49dbb86383a20570de43841137d33
- ・ イメージの SHA512 チェックサム :
**aaac809e6d3db2ab9ce2d359873094b9d2665023e68333f2149bb77504655c3bf79c67e59
e4a65c6d019c25c837cf32e6835b69df298f840a42765a91e76565d**

vSphere 6.5 以降での新規インストール用の OVA :

- ・ ファイル名 : **Cisco_Meeting_Management_3_6_0_vSphere-6_5.ova**
- ・ イメージの MD5 チェックサム : **0aef379cc19c61ac85b45c2ae5eda046**
- ・ イメージの SHA256 チェックサム :
6a641ffc7068a17aa35f9b07feb76370b44c2bcef3dd14f64c7fd257f1fa9334
- ・ イメージの SHA512 チェックサム :
**8c044a7f27366335ad9dd779c8e5fdff66e6dd6af1ae2237a50b4af41be5b0cfc0a7a4f4b
90a8a07d14b31992ad3d0e81097372b5852b96460031ceca1695e49**

1.5 スマートライセンス

3.4 リリース以降、スマートライセンスは Meeting Management に必須です。3.4 リリース以降、従来のライセンスのサポートは廃止されました。お客様は、スマートライセンスに移行することをお勧めします。

スマートライセンスとアップグレードの詳細については、[『管理者向け Cisco Meeting Management ユーザーガイド』](#)を参照してください。

注：Cisco スマートライセンスクラウド証明書は 2023 年 2 月に更新されます。更新後、スマートライセンスクラウドとの直接の通信、またはオンプレミスの Cisco Smart Software Manager (SSM) を介した通信はすべて影響を受けます。2023 年 2 月までに 3.6 にアップグレードすることをお勧めします。SLR/PLR のお客様は、新しいライセンスの取得、手動同期の実行、または新しい Call Bridge の追加のために、3.6 にアップグレードする必要もあります。

1.6 以前のバージョンのソフトウェアメンテナンスの終了

一度に 2 つの完全バージョンの Meeting Management がサポートされます。これは、後続の 2 つの完全バージョンがリリースされたときに、特定のリリースのメンテナンスとサポートの終了を通知することを意味します。詳細については、「[Cisco Meeting Server、Cisco Meeting App、および Cisco Meeting Management ソフトウェアのメンテナンスおよびサポートポリシーの終了](#)」を参照してください。

1.6.1 ソフトウェアメンテナンス終了

表 2：Meeting Management のバージョンのソフトウェアメンテナンス終了予定

Cisco Meeting Management バージョン	ソフトウェア メンテナンス終了の通知期間
Cisco Meeting Management バージョン 3.3.x	Cisco Engineering が Cisco Meeting Management バージョン 3.3.x の最終的なソフトウェア メンテナンス リリースやバグ修正をリリースする最終日は、2022 年 8 月 22 日です。
Cisco Meeting Management バージョン 3.4.x	Cisco Engineering が Cisco Meeting Management バージョン 3.4.x の最終的なソフトウェア メンテナンス リリースやバグ修正をリリースする最終日は、2022 年 12 月 17 日です。

1.7 Meeting Management と接続された Meeting Server を、必ず同じソフトウェアバージョンで実行する

Meeting Management と接続された Meeting Server は、同じソフトウェア バージョンを実行する必要があります。

3.0 より前は、Meeting Management のすべてのバージョンが、同じ Meeting Server と前の 2 つの Meeting Server をサポートしていました。3.0 以降、各 Meeting Management バージョンは、同じバージョンを実行している Meeting Server のみをサポートします。

注：問題を回避するために、接続されている Meeting Server をアップグレードする前に、常に Meeting Management をアップグレードすることを強くお勧めします。この変更を反映するために、[以前のバージョンからのアップグレード](#)を編集しました。

2 新機能と変更点

このセクションでは、3.6 の新機能を確認できます。

2.1 Meeting Management を使用してカスタマイズされたレイアウトを適用する

バージョン 3.6 では、Meeting Management はカスタマイズ可能なレイアウトをサポートしています。これにより、ビデオオペレータと管理者は、進行中の会議や会議の参加者の特定のニーズに合わせてカスタマイズされた画面レイアウトを適用できます。これらのレイアウトは Meeting Server で定義されているため、Meeting Management はカスタムレイアウトの追加、削除、または編集をサポートしていません。Meeting Server に含まれるカスタムレイアウトは、Meeting Management の **[画面レイアウトの変更 (Custom layouts)]** ページの **[カスタム レイアウト (Custom layouts)]** に表示されます。

注：カスタマイズ可能なレイアウトはライセンスされた機能です。この機能を使用するには、必要なライセンスを購入する必要があります。

Meeting Management は、最大 20 のカスタムレイアウトをサポートします。Meeting Management には、一度に 5 つのカスタムレイアウトが表示され、さらに多くのレイアウトを表示するためのリンクが表示されます。カスタマイズ可能なレイアウトは、トリプル スクリーン エンドポイントではサポートされません。

Meeting Server でカスタムレイアウトが定義されていない場合、Meeting Management は標準レイアウトのみを表示します。

注：ミーティングでペインの配置が有効になっている場合、カスタムレイアウトは使用できません。

2.2 Meeting Management で PCAP ファイルをキャプチャする機能

バージョン 3.6 以降、管理者はパケットを継続的にキャプチャして、Meeting Management でのネットワーク問題のトラブルシューティングのために PCAP を処理する際の遅延を回避できます。

管理者は、**CMM Logs** タブの **CMM PCAP** ページでのパケットをキャプチャを

[PCAP の開始 (Start PCAP)] ボタンをクリックすることで実行できます。パケットは .zip ファイルにキャプチャされ、キャプチャされたファイルに対して利用可能なダウンロードボタンを使用してダウンロードできます。管理者には、キャプチャしたファイルを削除するオプションもあります。開始されると、管理者が **[PCAP の停止 (Stop PCAP)]** ボタンを使用して停止するまで、パケットは継続的にキャプチャされます。

パケットは、ローテーション時に複数のファイルにキャプチャされます。pcap ファイルのサイズが 500MB を超えると、パケットは新しいファイルにキャプチャされます。これにより、管理者が停止するまで、パケットを永続的にキャプチャできます。Meeting Management は、最大 4 つの pcap ファイルを保存し、最大ファイル サイズの上限は常に 2GB です。4 番目の pcap ファイルのサイズが 500MB を超えると、最も古い pcap ファイルが削除されます。

2.3 アクセシビリティの向上

バージョン 3.6 の Meeting Management では、次のアクセシビリティの改善が導入されています。

- ・ Meeting Management の次の要素に、スクリーンリーダーを使用する参加者に役立つわかりやすい説明が追加されました。
 - ・ [すべてクリア (Clear all)] ボタン、[閉じる (Close)] ボタン、[時間 (Times)] リンク、[戻る (Back)] ボタン、[ピン (Pin)] ボタン、および [編集 (Edit)] ボタンなどの Meeting Management UI オプションに、適切な説明ラベルが付きます。
 - ・ [Blast ダイアル構成 (Blast dial configuration)]、[ユーザープロファイル (User Profile)]、および [設定 (Settings)] ページのダイアログボックスとトグルボタン。
 - ・ [ミーティング (Meetings)] ページのミーティング検索条件ドロップダウン リスト。
 - ・ [スケジュール設定済み (Scheduled)] または [スケジュール設定解除 (Unscheduled)]、[アクティブ (Active)]、[今後の予定 (Upcoming)] または [終了 (Ended)] などの [ミーティング (Meetings)] ページオプション。
- ・ Meeting Management の [ライセンス (Licenses)] ページのすべてのオプションは、グラフを含むキーボードからアクセスできるようになりました。
- ・ [概要 (Overview)] ページで、ユーザは閉じるボタン (X) を使用して、キーボードを使用して [通知 (Notifications)] ダイアログボックスを閉じることができるようになりました。
- ・ Meeting Management の次の要素が、スクリーンリーダーによって適切に読み上げられるようになりました。
 - ・ [プロフィール (Profile)] メニューボタン、[Blast ダイアル構成 (Blast dial configuration)] タブ、[クラウドコネクタ (Cloud connector)] ダイアログボックス、[バックアップと復元 (Backup and restore)] ダイアログボックスなどの Meeting Management UI オプション。
 - ・ [メイン (Main)] ページの左ペインにあるすべてのオプション。
 - ・ すべての通知ポップアップと検索結果。

2.4 オンラインヘルプ

オンラインヘルプは、このトライアルリリースで実装された変更に応じて更新されています。以下からご確認ください。

<https://meeting-infohub.cisco.com/olh/meeting-management/3-6/>

3 バグ検索ツール、解決済みの問題と未解決の問題

シスコのバグ検索ツールを使用して、問題と利用可能な回避策の説明など、Cisco Meeting Server に関する解決済みの問題および未解決の問題に関する情報を探すことができます。これらのリリース ノートに示されている ID によって、それぞれの問題の説明に直接移動できます。

3.1 バグ検索ツールの使用

1. Web ブラウザを使用して、 [バグ検索ツール](https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/) に移動します。
(<https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/>)
2. cisco.com の登録ユーザ名とパスワードでログインします。

このマニュアルに記載された問題に関する情報を検索するには、次の手順を実行します。

1. **[検索 (Search)]** フィールドにバグ ID を入力し、**[検索 (Search)]** をクリックします。

ID がわからない場合に情報を検索するには、次の手順を実行します。

1. **検索 (Search)]** フィールドに製品名を入力して**[検索 (Search)]** をクリックするか、または **[製品 (Product)]** フィールドで **[シリーズ/モデル (Series/Model)]** を選択し、**「Cisco Meeting Management」** と入力し始めます。次に、**[リリース (Releases)]** フィールドで **[これらのリリースで修正済み (Fixed in these Releases)]** を選択して、たとえば **「3.5」** とリリースを入力して検索します。
2. 表示されたバグのリストから、**[変更日 (Modified Date)]**、**[ステータス (Status)]**、**[重大度 (Severity)]**、**[評価 (Rating)]** ドロップダウンリストを使用してリストをフィルタリングします。

バグ検索ツールのヘルプページには、バグ検索ツールの使用に関する詳細情報があります。

4 解決済みの問題

4.1 3.6 (ビルド 3.6.0.21) で解決

参照先	問題
CSCwb73167	DTMF を送信して参加者を会議に追加する場合、文字 # は米国/インドのキーボードでのみ受け入れられ、他のキーボードレイアウトでは受け入れられません。

5 未解決の問題

このリリースの既知の問題は次のとおりです。これらの詳細が必要な場合は、サポート (<https://www.cisco.com/support>) にお問い合わせください。

参照先	問題
CSCwc76778	カスタムレイアウトは、ミーティングの SIP ダイアルイン参加者には適用されません。
CSCwa37575	生成された SLR コードに複数のカスタマイズライセンスがある場合、ライセンス登録は失敗します。複数のカスタマイズライセンスを持つ SLR コードを生成した後、Meeting Management で認証コードをアップロードすると、「 認証ファイルに問題があります (There is some issue with Authentication file) 」というエラーメッセージが表示されます。ページを更新すると、Meeting Management のステータスが登録済みとして表示されますが、 [ライセンス (Licenses)] タブでは、ステータスが [ライセンスなし (Unlicensed)] として表示されたままです。
CSCwa44321	[CMS ログバンドル (CMS Log Bundle)] タブでサーバーのログを収集するときに、管理者が名前前でサーバーを検索し、複数のサーバーを選択すると、単一のサーバーのみが選択されます。
CSCvz30358	Meeting Management で、Installation Assistant を使用して新しい Meeting Server を追加または設定しているときに、ユーザーはいくつかのパネルで無効になっている [次へ (Next)] ボタンをクリックして、必須パラメータを設定せずに次のパネルに移動できます。
CSCvt64327	管理者がテンプレート名に特殊文字を使用すると、ステータスメッセージの表示が異なり、代わりにエスケープ文字が表示される場合があります。
CSCvt64329	Meeting Server 2.9 以降でホストされているミーティングの場合、ロックボタンはゲートウェイコールに対して有効になっているように見えますが、効果はありません。Meeting Server はロックステータスを無視します。 回避策：回避策はありませんが、参加者がゲートウェイコールをロックすることは想定していません。
CSCvt64330	スマートライセンスを使用していて、Meeting Management の展開を別の仮想アカウントに移動すると、そのユーザーインターフェイスで情報が更新されません。 回避策：今すぐ手動で登録を更新してください。
CSCvt00011	クラスタ内のいずれかの Call Bridge への接続が失われると、Meeting Management はミーティングが行われるスペースに関する詳細を受信できず、ストリーミングが機能しない可能性があります。
CSCvr87872	CDR が失われると、アクティベーションが必要な参加者の変更が Meeting Management に反映されない場合があります。たとえば、Meeting Management は、参加者がすでにアクティブ化されてミーティングに移動している場合でも、ロビーに表示し続ける場合があります。
CSCvq73184	ミーティングが行われるスペースでペインの配置がオンになっている場合、ユーザーインターフェイスはペインの配置をオフにできないことを示していません。

注：macOS の更新により、Chrome を使用している macOS ユーザに対して一部の証明書が機能しなくなります。証明書が「TLS サーバー証明書には、id-kp-serverAuth OID を含む ExtendedKeyUsage (EKU) 拡張が含まれている必要があります」という要件に準拠していることを確認する必要があります。

6 相互運用性

この製品の相互運用性テストの結果は <http://www.cisco.com/go/tp-interop> に送信されます。ここでは、他のシスコ会議製品の相互運用性テストの結果も確認できます。

6.1 ミュート/ミュート解除とレイアウトの動作

Meeting Server で使用され、Meeting Management によって管理される場合のエンドポイントのミュート/ミュート解除およびレイアウト制御の動作の詳細については、次を参照してください。

- Cisco Meeting Server で使用し、Cisco Meeting Management で管理する場合、エンドポイントのミュート/ミュート解除コントロールはどのように動作しますか？
- Cisco Meeting Server で使用し、Cisco Meeting Management で管理する場合のエンドポイント レイアウト コントロールはどのように動作しますか？

7 製品に関する資料

次のサイトには、製品のインストール、初期構成、および操作に関するドキュメントが含まれています。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/meeting-management/tsd-products-support-series-home.html>

7.1 関連資料

Cisco Meeting Server のドキュメントは、次の場所にあります。

https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/conferencing/meeting-server/tsd-products-support-series-home.html

Cisco Meeting アプリのドキュメントは、次の場所にあります。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/cisco-meeting-app/tsd-products-support-series-home.html>

アクセシビリティ通知

シスコは、利用しやすい製品およびテクノロジーの設計および提供に取り組んでいます。

Cisco Meeting Project に関する Voluntary Product Accessibility Template (VPAT) は次の場所で入手できます。

http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/legal_regulatory/vpats.html#telepresence

アクセシビリティの詳細については、以下を参照してください。

www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html

Cisco の法的情報

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報と推奨事項は、すべて正確であると考えられていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワークポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この文書の印刷されたハードコピーおよび複製されたソフトコピーは、すべて管理対象外と見なされます。最新版については、現在のオンラインバージョンを参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所と電話番号は、当社の Web サイト www.cisco.com/go/offices をご覧ください。

© 2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

シスコの商標

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。シスコの商標の一覧については、https://www.cisco.com/c/ja_jp/about/legal/trademarks.html をご覧ください。本書に記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者の財産です。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1721R)

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。